

令和7年度みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会 結果概要

○日 時 令和7年10月8日(水) 10:00~12:00

○会議方法 みどり市役所笠懸庁舎2階 第1会議室

○出席者 みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会委員 10名

○議題内容

(1) みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要について【資料1】

【委員意見】

なし

(2) 令和6年度総合戦略検証委員会の意見について【資料2】

前年度の検証委員会で出た意見に対する現時点での市の取組状況の説明を事務局より行った。

【委員意見】

なし

(3) みどり市まち・ひと・しごと創生総合戦略(中期)の進捗状況について

【補足資料および資料3、4】

中期総合戦略の目標ごとの進捗状況の報告および今年度の人口動態について事務局より説明。

●基本目標1および基本目標2について事務局より説明

【委員意見】

○基本目標2の指標、子育て応援アプリ「みどりん」のダウンロード数のKPIがR4で止まっている理由は。

⇒R5からアプリが変更となり、ダウンロード数が指標として取れなくなったことが原因。改訂後の総合戦略では情報の掲載数等、別の指標としている。

○アプリは必要としている層に使ってもらうことが大切かと思う。必要な情報がどれだけ届くかという視点で情報発信を行っていただきたい。

○基本目標2の指標、「子育てに不安を持つ保護者の割合」の根拠は。子育て世代をターゲットにしているアンケートを行っているのか。

⇒まちづくり市民アンケートの指標によるもので、このアンケートは子育て世代以外も対象にしているものである。

○資料4の4ページのこども家庭センター事業について、こども家庭センターを新設したというのはいったい何か。施設的なものを整備したということか。

⇒こども課と健康管理課でそれぞれ行っていた相談事業等について、連携して進めることとした。施設整備を行ったわけではない。

○魅力ある学校づくりのため、地域ごとの特色を活かしていくことも有効であると考え
る。地域住民や市との連携も生徒たちにとって学びにつながると感じる。

○学力＝満足度ではなく、考え方も学力至上主義から個を大切にした考え方にシフトし
てきているので、子どもの幸福感という観点も重視すべきと思う。現在の学校に対す
るニーズ、求められることの把握、分析が大事かと思う。

○地域と学校の連携（子ども食堂における学習支援など）を進めたり、取り組みを市か
ら発信（アプリなどにより）していくと、子育てに不安を持つ保護者の不安感の解消
や子どもの幸福度の向上にも繋がるのでは。

●基本目標3および基本目標4について事務局より説明

【委員意見】

○移住施策に関連して、国が人口増加策から人口減を見据えた施策に方向転換する中で、
市としての今後の考え方は。

⇒人口減少幅を減らす取り組みと併せて、人口減を前提とした住みやすいまちづくり
による“幸福度重視”型の施策を考えていく。現在都市計画マスタープランを計画
中であり、「持続可能」という視点でコンパクトシティの考え方も取り入れて検討してい
きたい。

○みどモスは子ども達にとっても人気だが、特に子ども向けのみどモスグッズの展開が少
ないように感じる。ニーズはあると思うので商品開発や販売を強化してみてもは。

⇒市が直接売って、売上を上げる事は出来ないのでは、観光協会や市内事業者などに売
ってもらうことになる。まとまった量が売れる目途が経てば動き出す業者もいると思
われる。来年度は各種施設がオープンするので、手を上げる事業者も出てくるのでは
ないかと思われる。

○結婚・新生活の支援について、最低賃金がどんどん上がっている中で夫婦の合計所得
500万円だと対象者が限られてくるのではないかと。市独自の要件であれば緩和するな
ど条件を見直した方がよいのでは。

⇒事前相談は何件か来ている。事業としては国または県の既存事業に市が補助を上乗せ
する形を取っている。条件については今年度の実績も見ながら検討していく必要があ
ると考えている。

●基本目標5および強化目標Aについて事務局より説明

【委員意見】

○地域間で観光の考え方に温度差があると感じる。来年度は様々な施設のオープンや20
周年という節目でもあり、PRにはいいタイミングだと思う。3地域の連携や一体的観
光戦略が必要と考える。

⇒地域ごとの特色があるため、3地域が観光について同じ方向を向かせるのではなく、特徴を生かして地域ごとにどういう方向性で進んでいくかという視点をもって、今後の総合計画における観光の戦略を作っていきたいと考えている。

○基本目標5の観光の指標で観光客入込数の目標を300万人としているが、市として達成できる見込みはあるのか。

⇒入込客数の300万人については、実現が難しいということで改訂した中期改訂版戦略については入込客数の目標を下方修正（目標200万人）しているが、一方で観光消費額を新たに数値目標として設定し、消費と入込の両面から効果測定を行うこととしている。

●強化目標Bおよび強化目標Cについて事務局より説明

【委員意見】

○一人暮らしの高齢者が市内には800人ほどいる。今後もっと増えていくと考えられ、孤立・孤独が心配される。市では最近プラットフォームを設立していると思うが、活動状況について教えてほしい。また、立ち上げた以上は早く効果が出るように進めていただきたい。

⇒プラットフォームについては3月に設立後、これまでに関係団体による情報交換会を行っているところである。

○ボッチャをきっかけにみどり市の障がい者に優しい町ということがさらに広まればよいと思う。また、特別支援学校と社会や自治体の連携を進めたり、障がい者が地域でどのように活躍しているか可視化できるといいのでは。

○みどり市は交通アクセスがよいため、働く場など他市に流れていくことが多い。市外向けだけでなく、在住者向けの見学・体験コンテンツがあると魅力発見になるのではないと思う。

⇒笠懸に住んでいる人が大間々・東を知るような事業は市の一体感を醸成するという面で面白いと感じたので参考にしたい。

(4) 地方創生関連交付金(デジタル田園都市国家構想交付金)事業の実績について
各担当課より令和6年度の事業実績(3事業)について説明

《みどり市元気プロジェクト》【資料5】

【委員意見】

○ポイント付与による意欲啓発だけでなく、歩きたくなるまちづくり、歩きやすい環境づくりなど、ウォーカブルなまちづくりの考え方と併せて進めることも参加者増に繋がると思う。より良い事業にするため併せて進めていただきたい。

委員評価結果

取組内容は評価できる。

R6で交付金事業としては終了しているが、引き続き市の事業として参加者増につながるように取組を継続してもらいたい。

《地域経営・エリアマネジメントにより稼ぎ・発展する地域づくり事業》【資料6】

【委員意見】

なし

委員評価結果

取り組み内容は評価できる。

R6で交付金事業としては終了しているが、リノベーションまちづくりについての機運が高まったと思われるので、今後の事業に成果及び課題を生かしていただきたい。

《滞在型宿泊施設整備事業(国民宿舎サンレイク草木のリニューアル工事)》【資料7】

【委員意見】

なし

委員評価結果

建設中のため、進捗状況を毎年度検証委員会にてはかり、完成後の施設については市の観光の柱となるような活用を行うこと。